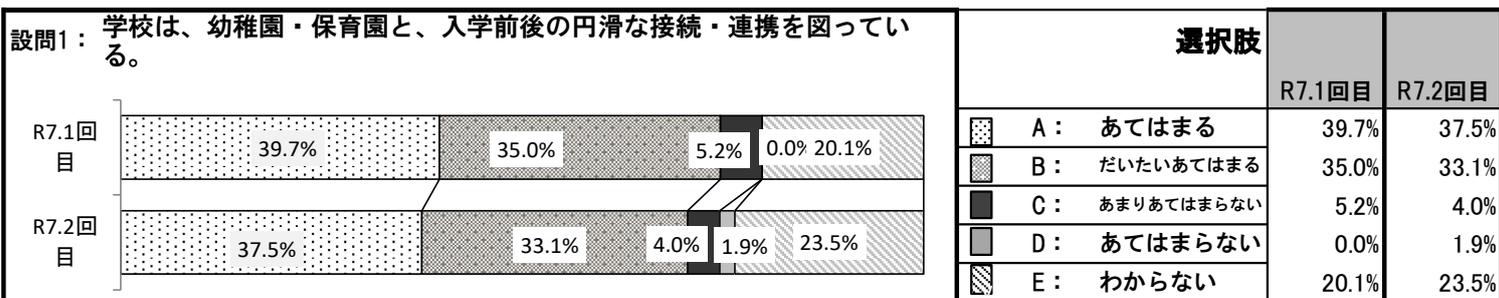
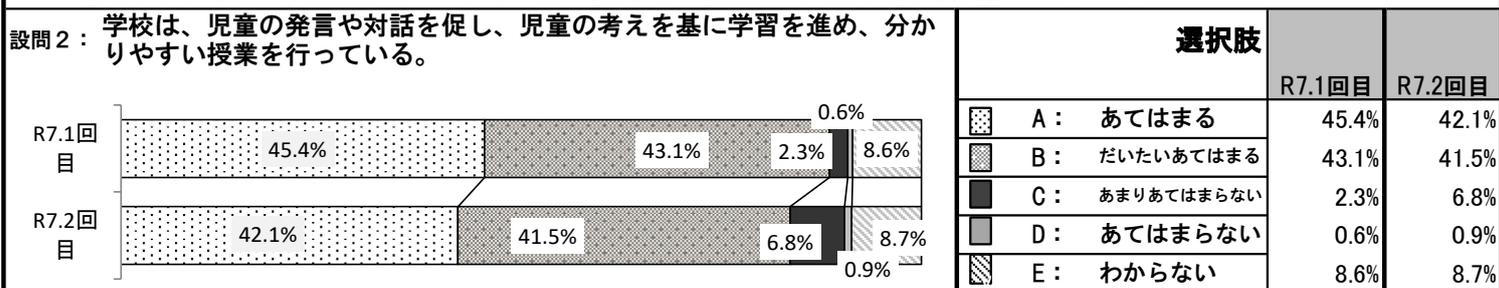


# 令和7年度 学校評価アンケート

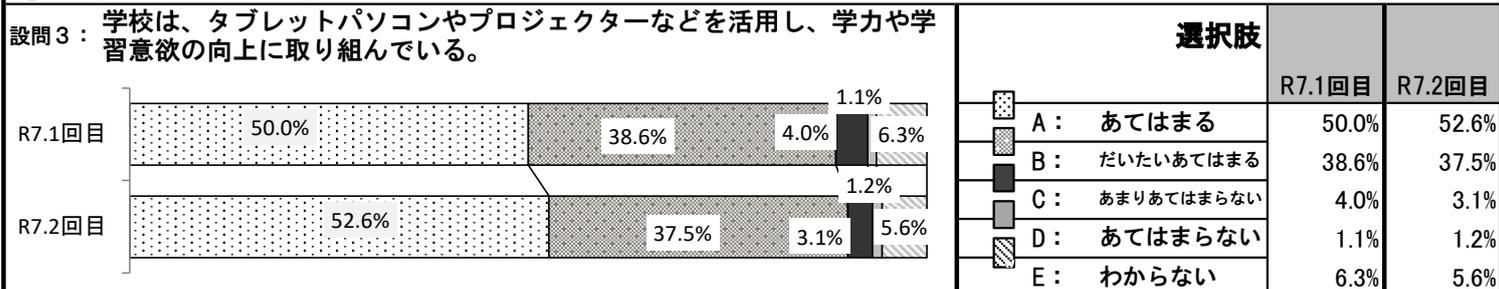
学校評価アンケートは教育活動の充実に向け、改善の視点を見いだすための一つの方法として、実施させていただきました。(全家庭数423に対して、1回目<7月末実施>は174(41%)、2回目は323(76%)の回答率となっています。)自由記述欄、その他ご記入いただきましたご意見・ご要望につきましても今後のより良い教育活動に生かしてまいります。ご協力誠にありがとうございます。



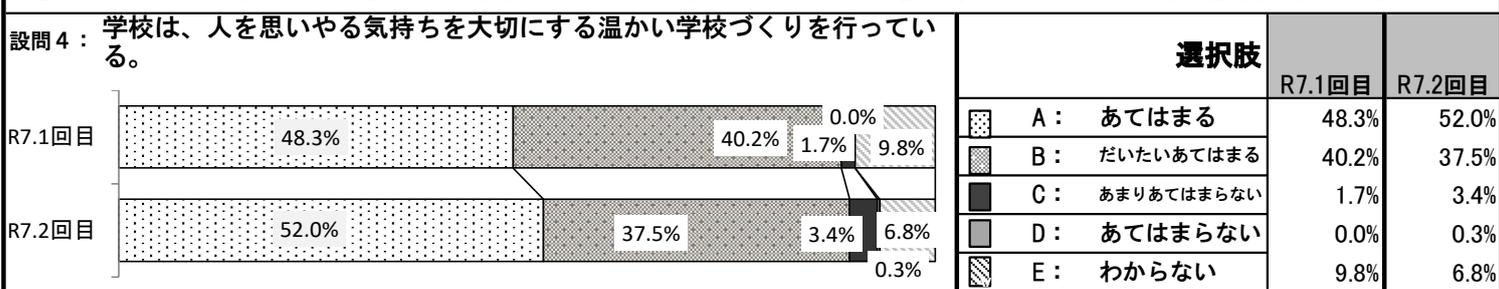
今年度の2回目は1回目よりも肯定的評価が減り、70.6%にとどまっています。また、「わからない」が23.5%と高い割合を占め、幼稚園、保育園との連携自体は行われているものの、交流内容や引継ぎの具体的な姿が家庭に十分伝わっておらず、保護者が実感しにくい状況にあると考えます。今後は、交流活動の様子をHPに掲載したり、幼稚園・保育園との連携の成果を年度末に振り返りとして共有したりするなど、情報発信に努めていきます。今年度は2月6日に幼稚園、保育園の皆さんをお招きして幼保小の交流会を実施いたしました。



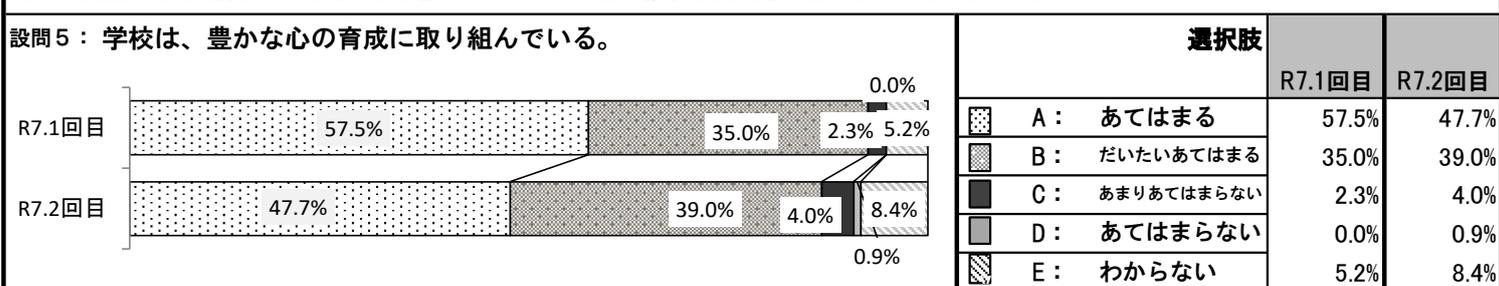
肯定的評価は1回目88.5%、2回目83.6%と高く、教職員の日常的な研修を通じた授業改善の取組が子供たちにとって、わかりやすい授業につながり評価をいただけたのだと思います。一方で「わからない」が2回とも昨年度よりも増え、1割近くになっていることから、対話的な学びがどのように学力向上につながっているのかが見えにくいのではないかと感じています。今後は、土曜公開授業などで、「話し合い」による「考えの深まり」を意図的に公開できればと考えています。



肯定的評価は2回とも約90%となり、「わからない」が2回目は5.6%に減少しています。これは、ICT活用が学校の特徴として根付き、家庭にも理解されているからだと考えます。今後もICT機器を効果的に活用しながら子供の学力と意欲向上のための工夫ある学習を展開していきます。

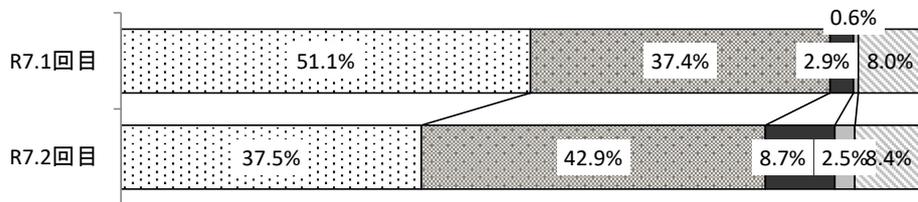


1回目88.5%、2回目89.5%と高い評価をいただいています。これは、児童の人間関係や学校の温かい雰囲気がご家庭にも伝わっているからだと考えます。今後も、教職員の共通理解のもと「温かい学校づくり」を目指して、日々の指導を行ってまいります。また、道徳の授業の様子や特別活動での児童の姿を継続的に発信するなど、日頃からご家庭に情報を発信し、連携を深めてまいります。



2回とも肯定的評価は85%を超え、概ね良い評価をいただいている一方で「わからない」が2回目は8.4%と見られます。これは、「たてわり班活動」や「校外学習」「生活科の取組」の成果が保護者の方々にもご理解いただけている一方で、心の育成が日常の教育活動とどう結びついているかが伝わりにくい面もあると考えています。今後は、心の育成を行事・授業と関連づけて説明するなど、どのような心を育てるための活動や授業なのかをより明確にした活動を心がけて取り組んでいきます。

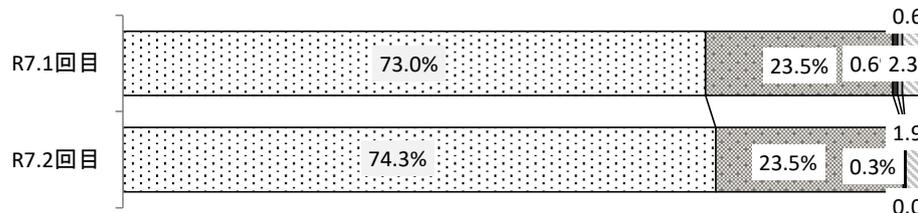
設問6：学校は、体力の向上に向けて取り組んでいる。



選択肢	R7.1回目	R7.2回目
	A：あてはまる	51.1%
B：だいたいあてはまる	37.4%	42.9%
C：あまりあてはまらない	2.9%	8.7%
D：あてはまらない	0.6%	2.5%
E：わからない	8.0%	8.4%

1回目の88.5%と比べると2回目は80.4%と肯定的意見が減り、2回目の否定的評価が11.2%と増加し、やや高い結果となりました。これは、体力向上の成果や取組の効果が見えにくいことが要因だと考えられます。来年度は、いただいたご意見をもとに、子供たちの体力向上に向けた取組を見直し、改善を図るとともに、体カテストの結果の推移を分かりやすく共有したり、日常的な運動の工夫を紹介したりするなど、保護者の方々にも積極的に発信していきます。

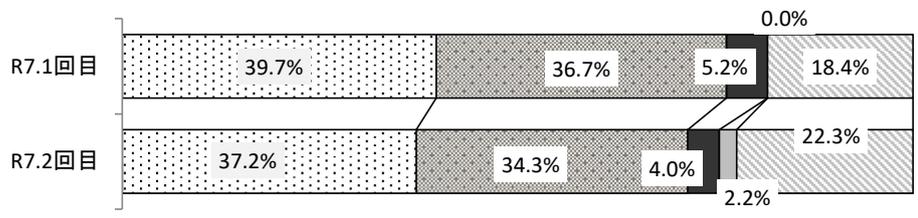
設問7：学校は、栄養に配慮したおいしい給食を提供している。また、食にまつわる知識や情報を給食日よりで伝えている。



選択肢	R7.1回目	R7.2回目
	A：あてはまる	73.0%
B：だいたいあてはまる	23.5%	23.5%
C：あまりあてはまらない	0.6%	0.3%
D：あてはまらない	0.6%	0.0%
E：わからない	2.3%	1.9%

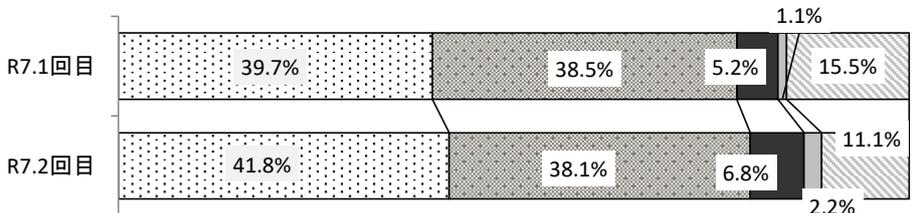
2回とも肯定的評価は95%を超え、大変高い評価をいただきました。給食・食育は本校の大きな強みであり、日々の取組が保護者の方々にも伝わっていることを嬉しく思います。今後も、食育の授業の充実などを通して、食事のマナーの大切さや食への関心・理解を高めていきます。

設問8：学校は、いじめ問題への指導・対応にしっかりと取り組んでいる。



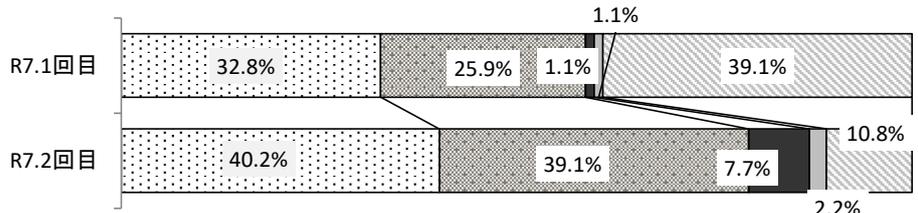
選択肢	R7.1回目	R7.2回目
	A：あてはまる	39.7%
B：だいたいあてはまる	36.7%	34.3%
C：あまりあてはまらない	5.2%	4.0%
D：あてはまらない	0.0%	2.2%
E：わからない	18.4%	22.3%

設問9：学校は、児童理解を図るよう、一人一人の児童の心に寄り添っている。



選択肢	R7.1回目	R7.2回目
	A：あてはまる	39.7%
B：だいたいあてはまる	38.5%	38.1%
C：あまりあてはまらない	5.2%	6.8%
D：あてはまらない	1.1%	2.2%
E：わからない	15.5%	11.1%

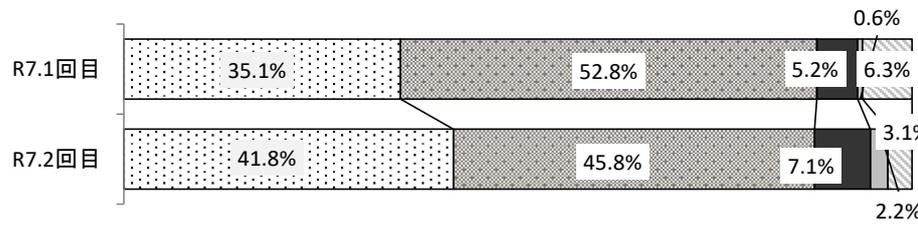
設問10：学校は、一人一人を大切にされた指導を行っている。



選択肢	R7.1回目	R7.2回目
	A：あてはまる	32.8%
B：だいたいあてはまる	25.9%	39.1%
C：あまりあてはまらない	1.1%	7.7%
D：あてはまらない	1.1%	2.2%
E：わからない	39.1%	10.8%

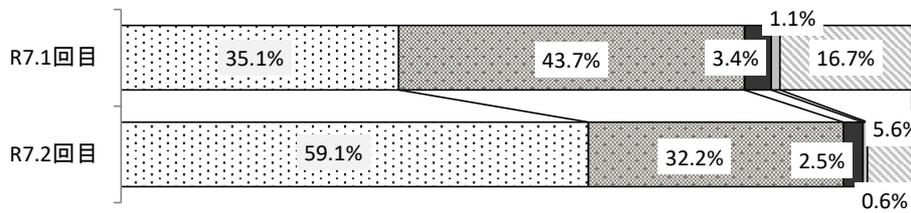
設問8, 9, 10は、概ね肯定的な評価をいただいています。学校は「学校いじめ防止基本方針」に基づき、校内いじめ防止委員会を隔月に開催して組織的な取組を進めています。一人一人を大切にされた温かい学級・専科経営の充実を図っていますが、保護者の方々を真摯に受け止め、さらに成果を上げられるように、児童の心に寄り添った言葉掛けや支援をしていきます。

設問11：児童は落ち着いた学校生活を送っている。



選択肢	R7.1回目	R7.2回目
	A：あてはまる	35.1%
B：だいたいあてはまる	52.8%	45.8%
C：あまりあてはまらない	5.2%	7.1%
D：あてはまらない	0.6%	2.2%
E：わからない	6.3%	3.1%

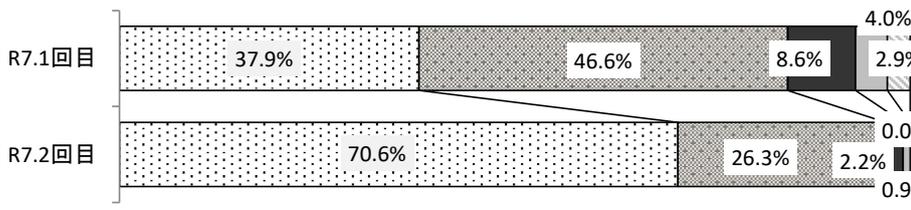
設問12： 学校は、保護者や地域の方の意見を受け止め、改善を図っている。



選択肢	R7.1回目	R7.2回目
	A: あてはまる	35.1%
B: だいたいあてはまる	43.7%	32.2%
C: あまりあてはまらない	3.4%	2.5%
D: あてはまらない	1.1%	0.6%
E: わからない	16.7%	5.6%

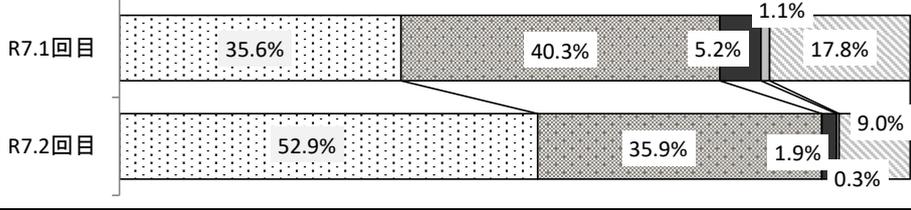
設問11は、肯定的評価は87.6%と高く、児童が安心して通える学校として評価されていると考える反面、9.3%が否定的な評価となります。児童にとって安心・安全な学校であり続けられるように、教員間の生活指導の共通理解を図り、一層充実した指導を行ってまいります。設問12の結果から、学校が保護者、地域の意見を受け止め、改善を図っていると感じていただけていること大変ありがたいです。教育の場において、常に完璧な対応というのは難しい面がありますが、ご指摘やご意見に対して真摯に改善を図る姿勢を今後もしっかりと継続してまいります。

設問13： 学校は、「すぐる」などで日頃の教育活動や共有すべき情報を分かりやすく伝えている。



選択肢	R7.1回目	R7.2回目
	A: あてはまる	37.9%
B: だいたいあてはまる	46.6%	26.3%
C: あまりあてはまらない	8.6%	2.2%
D: あてはまらない	4.0%	0.9%
E: わからない	2.9%	0.0%

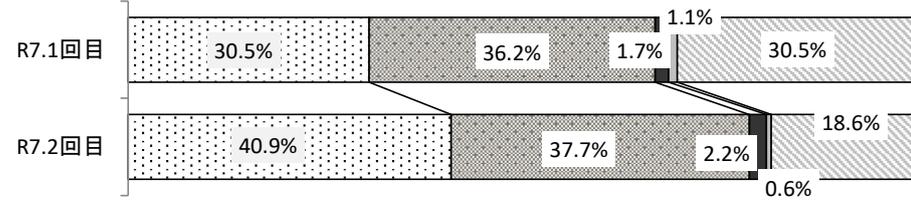
設問14： 学校は、外部のゲストティーチャーや保護者ボランティアなどを活用した授業を行い、地域や家庭と連携をしている。



選択肢	R7.1回目	R7.2回目
	A: あてはまる	35.6%
B: だいたいあてはまる	40.3%	35.9%
C: あまりあてはまらない	5.2%	1.9%
D: あてはまらない	1.1%	0.3%
E: わからない	17.8%	9.0%

設問13「情報発信」については、肯定的評価は96.9%と高い評価をいただき、「すぐる」での配信が保護者の方々に定着した結果と考えています。今後は、活動の背景や意図を丁寧に伝えたり、読みやすさを意識したりするなど、より分かりやすい情報発信を目指してまいります。設問14「地域との連携」については、肯定的評価は88.8%と概ね高い評価をいただきました。一方で「わからない」の回答も見られ、実践の全体像が家庭に伝わりきっていないと考えます。本校は、外部のゲストティーチャーや地域の講師を招いた授業を各学年で行っており、充実した学びを得られています。今年度は写真掲載を制限しておりましたが来年度からは、学校ホームページなどを通じて、授業後の報告を徹底するなど、保護者の方々に活動内容がより伝わるように、情報発信に努めてまいります。

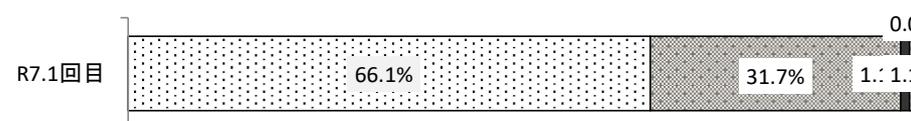
設問15： 学校は、特別支援学級と普通学級との交流を通して、誰もが住みよい社会をつくる心を育む取組を行っている。



選択肢	R7.1回目	R7.2回目
	A: あてはまる	30.5%
B: だいたいあてはまる	36.2%	37.7%
C: あまりあてはまらない	1.7%	2.2%
D: あてはまらない	1.1%	0.6%
E: わからない	30.5%	18.6%

肯定的評価は78.6%に対し、「わからない」が18.6%と高く、交流の意義や実際の活動の様子が保護者の方々に見えにくいことが原因と考えています。学校では、今年度も校内インクルーシブ委員会を中心に各学年で交流や、共同学習を企画して実施し、音楽のリミックスやランチ会、体作り運動など、できる限り関わり場の場を設けました。来年度も引き続き活動を工夫しながら子供たちにとって充実した取組を行ってまいります。今後は、交流のねらいを明確にお伝えしながら、成果や児童の変化を紹介するなど、活動の内容をより具体的に発信してまいります。

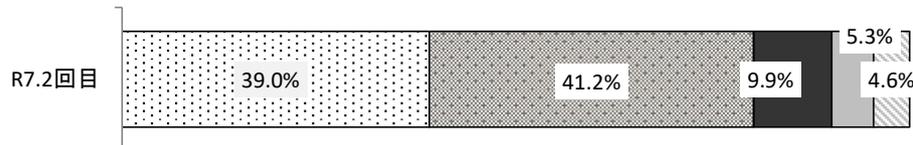
設問16： 「すぐる」による欠席の連絡や手紙の配信により、学校はデジタル化を図っている。



選択肢	R7.1回目
	A: あてはまる
B: だいたいあてはまる	31.7%
C: あまりあてはまらない	1.1%
D: あてはまらない	0.0%
E: わからない	1.1%

『すぐる』による欠席連絡や手紙配信など、学校のデジタル化の取組については、「あてはまる」66.1%、「だいたいあてはまる」31.7%で、肯定的評価は97.8%となり、多くの保護者の皆様に利便性を実感していただいている結果となりました。今後もデジタル化を進め、連絡の迅速化と保護者負担の軽減、教職員の働き方改革の推進に努めてまいります。

設問17: 学級で出されている宿題は、家庭での学習習慣をつけるのに役立っている。



選択肢	R7.1回目	R7.2回目
	A: あてはまる	
B: だいたいあてはまる		41.2%
C: あまりあてはまらない		9.9%
D: あてはまらない		5.3%
E: わからない		4.6%

肯定的評価は80.2%と宿題が多く、家庭で学習習慣を身につけるのに寄与していると考えられる一方で、否定的評価も15.2%と家庭ごとの意識に差があることがわかります。今回いただいた保護者の方々のご意見をもとに、宿題についての方針をまとめたり、ねらいと目安時間を明示したりするなど、今後の宿題の出し方について検討していきます。

設問18: 学習発表会は、子供たちの学習の成果を発表する場として有効である。



選択肢	R7.1回目	R7.2回目
	A: あてはまる	
B: だいたいあてはまる		28.5%
C: あまりあてはまらない		2.8%
D: あてはまらない		1.9%
E: わからない		4.3%

「学習発表会は、子供たちの学習の成果を発表する場として有効である」の項目では、肯定的評価は合計91.0%となり、多くの保護者の皆様に学習成果を実感していただける行事となっていることが分かりました。今後も子供たち一人一人の成長が伝わる発表の場となるよう、内容の充実に努めてまいります。ただし、個々のご意見を確認した時に、低学年の保護者の方は比較的満足されているようですが、高学年の保護者の方は、若干物足りなさを感じているとのご意見もありました。